

2019 年度（平成 31 年度）

事業計画書（案）

2019/3/16 版

2019年 5 月 1 日から
2020年 4 月 30 日まで

公益社団法人長野グライダー協会

2019 年度事業計画

長野グライダー協会の 2019 年度事業計画は、定款の下記条項に則り、策定する。

公益社団法人 長野グライダー協会 定款

(目的)

第 3 条 この法人は、グライダースポーツを通じ正しい航空知識及び技術を修得せしめ、良識ある社会人としての人格と体力の育成をはかることを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) グライダースポーツに関する訓練
- (2) グライダースポーツに関する競技会及び研究会の開催
- (3) グライダースポーツの指導者を養成する。
- (4) 会誌の発行、資料の配布(電磁式発行配布)
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2019 年度事業計画

1 航空スポーツに関する訓練

1.1 会員通常訓練

日程は別紙活動計画表参照(活動日:99日予定)

1.2 山岳滑翔体験会

10月～2月(ホームページにて公開募集)

1.3 学生合宿の受け入れ

信州大学航空部による独自運航合宿の実施、およびその他事由発生時

1.4 ナガノフライトサービスの運用

長野市上空の航空情報の提供(活動日)

1.5 グライダー体験飛行

対象:小学4年生～大人 活動日随時(市報とホームページにて公開募集)

2 航空スポーツに関する競技会及び研究会の開催

2.1 国際記録会オンラインコンテスト(OLC)への参加

日々の飛行記録を基に順位を決定する GPS・インターネットを活用した国際的なコンテスト

2.2 競技会開催のための研究・勉強会の推進(委員会により実施)

2.3 ワールドカップ開催のための準備推進

2.4 優秀選手招聘事業

2.5 スカイスports交流事業

クラブミーティング等への代表者派遣

- 2.6 会員のフライト技量向上を目的とした、クラブ内コンペ実施の支援
クラブ内ボランティアメンバーの企画を、クラブ内へ周知し、活動を支援する。

3 航空スポーツに関する教育指導体制の充実

- 3.1 指導者の育成、教育証明取得の支援(教材の充実・実技教育)
3.2 指定養成施設の維持とライセンスの育成
3.3 整備士、運航管理者、ウインチマン、曳航パイロットの育成
3.4 特定操縦技能審査業務
会員の有資格者によって審査を行う
3.5 滑空記章試験の実施と公式立会人の推薦
3.6 各種講習会の開催(ホームページにて公開募集)
基本操縦と安全、気象、クロスカントリー、
機体の取り扱い、航空法令、無線の取り扱い、電波法令

4 会誌の発行、資料の配布

- 4.1 ホームページの管理・更新、ブログの管理・更新
4.2 広報誌発行の検討

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 5.1 多目的広場(滑走路)、格納庫、駐機場の維持、整備
5.2 滑走路延長・誘導路計画の推進
将来的に長野での選手権開催を視野に入れた活動を行う
5.3 協会所有の機体及び曳航装置(ウインチ)等の機材の維持管理
5.4 長野市スポーツ協会および地域住民との交流
市の総務委員会への参加
太郎山愛護会への参加。トレッキングコース整備への参加等。
河川敷ゴミ拾い参加、若穂とびっくらん協力等
5.5 市民体験搭乗の実施と新会員募集活動、学生クラブの支援
グライダー、モータグライダーの体験搭乗実施(随時)
来場者へのグライダースポーツの説明と普及活動
学生クラブ会員の支援(新人勧誘、飛行活動、学科教育等)
5.6 活動改善、効率化、安全性向上のための各種テーマ検討とその活動推進
① 活動日程の見直しによる、より高い安全フライト環境の確保と会員活動の活発化
② 曳航機チャータによる航空機曳航練習とスピン対処教育の実施(10月後半を検討)
③ ウインチの主要部品の交換、更新(ミッション、エンジンの交換。2019年度夏、予定)
④ ウインチダイナマソ導入検討(2020年度以降実施)
⑤ 管理文書の見直し、整理
⑥ 無線機機材の更新検討(長野フライトサービス局 他)
⑦ その他必要機材の改善、更新の検討と推進

以上